

ファンツーリズムが観光に及ぼす影響

～ジャニーズのファンを考察～

原田菜々美

本稿では、近年注目されているファンツーリズムを取り上げた。「推し」が流行語になるほどアイドルやアニメのファンが増加していることから「オタク」がどのようにファンツーリズムに関連しているのかを調査した。ここでは日本のアイドルの発起人のジャニーズのファンに絞り、ロケ地巡りではなくライブ参加中心のファンツーリズムを理由とした観光動機が成立することを明らかにする。

ジャニーズオタクは「代替性のない魅力」を求めていることが明らかになった。好きなアイドルがロケで訪れたりアニメの1シーンで出てきたりするロケ地巡りや聖地巡礼のようなものではなく、ライブやイベントといった実際に見ること、会うことができるものが強い誘致力を持っているのである。これは必然的にライブ会場に行くためのファンツーリズムが行われていることが明らかになった。特に北海道、東京、名古屋、大阪、福岡の5大ドームがあるライブ会場がある地域には多くの観光地がある。ライブ会場を訪れる人の多くは観光をすることも明らかになった。ライブが決まると場所と日程を確認し、これまで行ったことがない町や飲食など行き先の観光地でなにができるのかをオタクの友達と相談して決定しているという。そしてライブが終わったら、その土地の食やお酒を楽しみながらライブの話で盛り上がるのである。そこからジャニーズのファン、オタクによる観光行動はファンツーリズムが中心になっている。したがって過去のロケ地よりも、アーティストに会いに行くことを中心としたファンツーリズムを理由とした観光動機が成立するといえる。

【キーワード】 ファンツーリズム、ジャニーズ、観光